

施策名：障がい者が安心して暮らせる地域生活の推進

事業名	担当課・室名	ページ
親なきあと支援体制構築事業	障害福祉課	1 / 3
障がい者差別解消・権利擁護推進事業	障害者社会参加推進室	1 / 3
障がい者福祉施設整備事業	障害福祉課	1 / 3
てんかん医療・地域連携体制整備事業	障害福祉課	2 / 3
在宅重度障がい者住宅改造助成事業	障害福祉課	2 / 3
精神障がい者地域移行・定着体制整備事業	障害福祉課	2 / 3
障がい者芸術推進事業	障害者社会参加推進室	3 / 3
国際車いすマラソン大会開催事業	障害者社会参加推進室	3 / 3

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-3-(1)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
1	<b>親なきあと支援体制構築事業</b> (R1～) 障害福祉課 障がいのある方の「親なきあと」を見据え、障がいのある方が引き続き地域で生活できる環境を整えるため、相談員の養成等を実施する。	①親なきあと相談員の養成・活用 ・相談支援専門員等を対象とした親なきあと相談研修会を開催(14回) ・市町村による親なきあと相談会へ親なきあと相談員を派遣(7市町村) ・相談を有資格者につなぐためのスーパーバイザーの配置 ②地域生活支援拠点等の整備促進 ・緊急時の相談や受入・対応など、居住支援のための機能を備える地域生活支援拠点等の整備及び機能の拡充・強化を図るため、アドバイザー派遣を実施	① 4,068 ③ 302	<b>市町村での地域生活支援拠点等整備</b> [拠点数]	目標値	—	60	65	A
			② 518 ④		実績値	—	61	—	
			③相談者向けリーフレットの作成(2種類) (1)制度説明版 (2)エンディングノート版	① 14 ③ 14 ② 100.0%	達成率 116.7%	—	101.7%	—	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 4,988 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 4,888 (258)		アドバイザーの派遣回数 [回]		目標値 6 実績値 7 達成率 116.7%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 親なきあと相談員の養成や、市町村での地域生活支援拠点等整備を促進するためのアドバイザー派遣により、全ての市町村において拠点等整備が完了し、地域全体で支えるサービス体制の構築が進んだ。これにより成果指標の目標を達成したため、R5からは拠点の5機能のうち整備済の機能の合計数を目標値とした。 引き続き相談員の研修や育成、アドバイザー派遣を行いながら、各市町村での地域生活支援拠点等の機能強化・拡充のため、運用状況の検証・検討を行っていく。			

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
2	<b>障がい者差別解消・権利擁護推進事業</b> (H28～) 障害者社会参加推進室 「障がいのある人もない人も心豊かに暮らせる大分県づくり条例」に基づき、障がい者に対する差別的解消と権利擁護の推進を図るため、必要な相談体制等を整備する。	①手話理解促進事業等 ・手話の理解促進を図るための啓発講座の開催、動画の作成 ・手話通訳者養成のための研修会の開催(委託先：(社福)大分県聴覚障害者協会) ・第71回全国ろうあ者大会inおおいの開催経費補助 ②障がい者差別解消・権利擁護推進センターの設置 ・専門相談員：2名配置 ・相談件数：1,652件 ③普及啓発事業 ・障がいへの理解を深めるための企業向け啓発講座の開催(6回、82社) ・合理的配慮法的義務化に向けた啓発動画制作 ・障がいのある方が周囲から援助や配慮を受けやすいようヘルプマークを配布(1,216個)	① 9,158 ③ 3,103	<b>障害者差別解消法に基づく職員対応要領を制定する市町村</b> [市町村]	目標値	18	18	18	A
			② 7,057 ④		実績値	18	18	—	
			③ 150 ④ 143 [人]	達成率 50.0%	達成率 100.0%	100.0%	100.0%	—	
	予算額 (うち翌年度繰越額) 21,565 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 21,358 (6,444)		障がい者差別解消支援地域協議会の開催回数 [回]		目標値 2 実績値 1 達成率 50.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 障害者差別解消法及び県条例の普及啓発と障がいへの理解を深めるため、企業等を対象とした啓発講座の開催や相談窓口への専門相談員の配置、障がいのある方へのヘルプマークの配布などを実施した。また、手話理解促進事業により、手話への関心と聴覚障がい者への理解を深め、手話通訳者の養成を行った。 令和6年4月の改正法施行により、企業等の合理的配慮の提供が義務化されることから、さらなる周知に向けた取組を推進する。			

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
3	<b>障がい者福祉施設整備事業</b> (S43～) 障害福祉課 障害福祉サービスの充実を図るため、社会福祉法人などが行う施設整備に対し助成する。また、介護職員の負担軽減を図るため、ロボット等の導入に対し助成する。	①障がい者福祉施設整備 障がい者福祉施設の施設等整備を行う社会福祉法人等に対する補助 ・補助実績：2件 ・補助率：3/4(国1/2、県1/4) ②ロボット等導入支援 介護職員の負担軽減を図るため、ロボット等導入経費を助成 ・補助実績：7件 ・補助率：3/4(国1/2、県1/4) ③ICT導入モデル事業 障がい福祉分野の生産性向上を図るため、ICT導入に伴う経費を助成 ・補助実績：11件 ・補助率：3/4(国1/2、県1/4)	① 45,025 ③ 5,502	<b>障がい福祉サービス利用定員</b> [人]	目標値	7,510	7,991	8,756	A
			② 5,805 ④		実績値	8,414	8,790	—	
			③ 1 ④ 2 [施設]	達成率 200.0%	達成率 112.0%	110.0%	—		
	予算額 (うち翌年度繰越額) 699,595 (641,200) 決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 58,395 (12,398) (37,553)		施設整備数 [施設]		目標値 1 実績値 2 達成率 200.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 グループホームの創設や障害者支援施設の非常用自家発電設備の整備に対する支援を実施したことで、障がい者が地域で暮らし働ける環境の充実が図られた。 今後も、障害福祉サービスの充実を図るため、施設整備に対する支援を継続する。			

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-3-(1)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
4	<b>てんかん医療・地域連携体制整備事業</b> （R5～） 障害福祉課 てんかん患者や家族が地域で安心して暮らせるよう、てんかん支援拠点病院を指定し、てんかんにかかる医療相談の実施や適切な治療が受けられる診療及び地域の連携体制を整備・構築する。	①相談体制の整備 ・てんかん診療支援コーディネーターの配置：1名 ・患者及びその家族への専門的な相談支援の実施：延べ41件 ②医療体制の整備 ・てんかん治療医療連携協議会の開催：1回 ・医療機関等への治療に関する助言及び指導：2件 ③研修・普及啓発活動 ・医療従事者、関係機関職員等への研修の実施：7回 ・患者及びその家族、地域住民等への普及啓発の実施：1回（会場65人、Web30件）	① 2,826 ③ 25 ② 100 ④	<b>医療的助言を要した相談件数</b> [件]	目標値		20	50	A
					実績値		41	—	
			主な活動指標と達成率 [回]	研修会・市民公開講座等の開催回数 目標値 2 実績値 1 達成率 50.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 専門医療機関を整備し、患者・家族が安心して地域で診療できるようになることを目的に、大分大学医学部附属病院を拠点病院に指定した。拠点病院に診療支援コーディネーターを配置し、患者及びその家族への専門的な相談支援を実施した。さらに、てんかん医療地域連携協議会を開催し、拠点病院の取組内容の評価を実施した。今後は、診療体系構築のための1次医療機関の調査や取組における課題の整理・明確化、正しい知識の習得・理解の促進のための普及啓発に取り組む。	達成率		205.0%	—
			協議会の開催回数 目標値 2 実績値 1 達成率 50.0%						
	予算額 (うち翌年度繰越額) 2,959 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 2,951 (1,475)								

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
5	<b>在宅重度障がい者住宅改造助成事業</b> （S58～） 障害福祉課 障がい者の生活環境整備、地域移行促進のため、在宅の重度障がい者（児）又はその障がい者と同居する者が、住宅設備をその障がい者に適するよう改造する経費を支援する市町村に対し、市町村補助額の2分の1を助成する。	①住宅設備の改造経費の助成 在宅の重度障がい者（児）の現に居住する住宅の玄関等の設備を、その障がいに適するように改造する費用を支援する市町村に対し助成 ・補助実績：14件 ・補助率：生活保護世帯 1/2、その他世帯 1/3 ・補助限度額：600千円	① 2,288 ③ ②	<b>助成実施市町村数</b> [市町村]	目標値	6	6	8	A
					実績値	8	—		
			主な活動指標と達成率 [件]	助成交付件数 目標値 10 実績値 14 達成率 140.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 市町村と連携して当該事業の周知を図り、助成実施市町村数は目標を達成した。引き続き住宅設備の改善が必要な障がい者を支援する市町村に対して助成し、生活環境の整備及び地域移行を促進する。	達成率	133.3%	133.3%	—
				目標値 実績値 達成率					
	予算額 (うち翌年度繰越額) 2,445 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 2,288 (0)								

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
6	<b>精神障がい者地域移行・定着体制整備事業</b> （H27～） 障害福祉課 精神障がい者が安心して地域で生活できるようにするため、保健・医療・福祉関係者による協議の場を設置し、関係者間の連携を強化するとともに、アドバイザー派遣などの人材育成を行い、支援者の質の向上を図る。	①連携強化 精神障がい者ピアサポーターの養成・活用 ②体制整備 ・圏域単位での地域移行支援協議会の開催（6回） ・精神障がい者地域移行WGの開催（2回） ・医療と地域の連携促進コーディネーター配置事業 精神科病院にコーディネーターを配置し、医療と地域の連携ノウハウの構築を図る。 ③人材育成 ・地域移行・地域定着促進研修会の開催（5回） ・精神障がい者地域移行・地域定着アドバイス事業 相談支援専門員の質の向上を図るため、アドバイザーを派遣（4回） ④退院支援 措置入院者等に対する退院支援計画の作成（25回）	① 2,283 ③ 464 ② 1,605 ④ 272	<b>地域移行支援・地域定着支援サービスの利用件数</b> [件]	目標値	95	95	95	C
					実績値	78	—		
			主な活動指標と達成率 [件]	相談支援専門員（アドバイザー）の派遣件数 目標値 10 実績値 4 達成率 40.0%	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 県及び圏域ごとの協議の場を設け、関係者間の連携を強化するとともに、専門性の高い相談支援専門員（アドバイザー）を相談支援事業所等に派遣し、地域移行・定着支援の推進を図った。また、コーディネーターを精神科病院に配置し、医療と地域の連携を推進した。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で病院への訪問が制限され、目標値の達成はできなかった。今後は、関係者間の一層の連携強化や人材育成を行いながら、引き続き精神障がい者の地域移行・定着を推進していく。	達成率	82.1%	82.1%	—
			コーディネーターによる退院支援件数 目標値 5 実績値 5 達成率 100.0%						
	予算額 (うち翌年度繰越額) 7,825 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 5,225 (2,990)								

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：I-3-(1)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価	
7	<b>障がい者芸術推進事業</b> ( R1 ~ ) 障害者社会参加推進室 障がい者の芸術文化活動を継続・発展させるため、おおいた障がい者芸術文化支援センターを運営し、福祉事業所等に対する相談支援や芸術文化活動の発表・鑑賞機会の提供等を行う。	①おおいた障がい者芸術文化支援センターの運営 ・事業所等に対する相談支援 ・障がい者アートアシスト研修の実施（2回） ・障がい者アーティストによる小学校でのワークショップの開催（2回） ・作家・作品の調査発掘、HP等での情報発信 ・企画展やオープンアトリエ、公募型ワークショップ等の創造・発表・鑑賞機会の確保 (委託先:(公財)大分県芸術文化スポーツ振興財団)	① 30,518 ③ 720	<b>障がい者アートを実施する市町村</b> [市町村]	目標値	18	18	18	B	
			② 4,777 ④		実績値	17	17	—		
			主な活動指標と達成率			達成率	94.4%	94.4%	—	
			出張オープンアトリエの開催施設数	目標値	5	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 令和元年に開所した「おおいた障がい者芸術文化支援センター」において、創造・発表・鑑賞の機会の提供や、セミナー等を通じた人材育成、創作等に関する各種相談対応等を行ったほか、県立美術館で企画展を開催し、3,862人が観覧した。引き続きセンター機能の充実を図るとともに、県内各地での創作活動を支援することで、芸術を通じた障がい者の社会参加を促進していく。				
			[施設]	実績値	21					
		作品等の調査発掘件数	目標値	5						
		[件]	実績値	5						
		達成率			達成率	100.0%				
予算額 (うち翌年度繰越額) 36,075 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 36,015 (16,041)		②芸術文化を活用した障がい者の社会参加促進事業 ・ときめき作品展の開催（作品数：547作品） ・誰でも楽しめる映画館の開催（4回、347人） ③大分県障がい者芸術文化推進基本計画の更新								

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価	
8	<b>国際車いすマラソン大会開催事業</b> ( S56 ~ ) 障害者社会参加推進室 共生社会の実現に向けた機運の醸成及び障がい者スポーツの推進を図るため、第42回大分国際車いすマラソンの開催や障がい者スポーツ環境の整備に資する事業を実施する。	①第42回大分国際車いすマラソンの開催 ・日時：令和5年11月18日（土）、19日（日） ・種目：マラソン、ハーフマラソン ・参加者数：選手190人、ボランティア2,390人 ・委託先：大分県障がい者スポーツ協会	① 48,000 ③	<b>参加者数（登録選手数+ボランティア数）</b> [人]	目標値	2,300	2,300	2,300	A	
			② 3,308 ④		実績値	2,295	2,390	—		
			主な活動指標と達成率			達成率	99.8%	103.9%	—	
			協力者説明会実施回数	目標値	3	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 コロナ禍前の運営に戻し、大会前の児童と選手の交流会や開会式・パレードの実施、交歓の夕べの復活等、県民と一体となって盛り上げる大会運営を行った。また、特別支援学校と連携し、運動部活動の地域移行に向けた練習会を3校で実施した。今年度は、新たに東京2025デフリンピックに向けた普及啓発を行い、聴覚障がい者の社会参加を促進するとともに、引き続き、障がい者が地域でスポーツに取り組める環境づくりを進める。				
			[回]	実績値	6					
			目標値							
			実績値							
			達成率		達成率					
予算額 (うち翌年度繰越額) 55,345 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 54,366 (3,958)		②東パラレガシー障がい者スポーツ推進事業 ・特別支援学校等における運動部活動の地域移行に向けた環境整備 ・総合型地域スポーツクラブにおける障がい者スポーツの受入に向けた環境整備								